



井上道義の 未来だった今より

僕の人格の形成に大きく影響を与えたのが、小学校のクラス「くすのきぐみ」だ。東京の世田谷区にある私立成城学園初等科だが、今も多ければ25人ほどが時々集まる。

その頃としては珍しく、劇の時間、散歩の時間、お遊びの時間、彫塑の時間、音楽と舞踊の時間、そして冬は湯沢でスキー学校、夏は富浦で海の学校などもちりばめられていた。今では有り得ないらしいが、6年間担任が代わらず、1年生の時、24歳だった個性の強い先生には、何度も頭をたたかれながらの6年間だった。木で作られたボロい教室、冬は石炭のダルマストーブで、イタズラをして授業が煙で続けられないように細工したもんだった。

その頃、僕は授業中抜け出して飛行機の模型を買いに行ったり、バレエ団の巡業で授業を何度も休んだりして劣

等生だったかもしれないが、コンプレックスは全くなかった。みんないろいろな得意なことがあるからダメなものもあると知っていたから。

指揮者になることを決心した14歳のときの初心は今もそのまんまだ。自分の持つものをトコトン伸ばしたい、出来ないことはしなくても良い。でも好奇心や人への興味は絶対捨てない。地球上には想像もできない美しいものや恐ろしい出来事がたくさんあることなど、大事な基本も、くすのきぐみで学んだが、運が良かっただけは思わない。最近、平等という幻想に人々は呪縛されている！ 凸凹こそが世界を（音楽を）作っている！ 人はみんな違う。蝶だって蟻だって、みなよく見れば個体が違うように。結びつけるのはやっぱり愛というやつなんだろう。

（オーケストラ・アンサンブル金沢）
音楽監督

♪
くすのきぐみ